

令和4年度事業報告

令和4年度は、8月にコロナウイルス感染者が過去最多発生し、12月にも大きな波がきたものの1月以降は減少を続け3月にはマスクの着用は個人判断へと対応が変化してきました。コロナの影響に加え、世界情勢の不安定化が小麦や原油価格の上昇、さらに円安なども加わり物価高に火をつけました。こうした不安定要素は、地域社会の活性化に寄与するシルバー人材センターにも大きな影響を与えました。

このような社会状況ではありましたが、第4次中期計画の最終年として、会員数、契約額は目標額を達成し、就業率は目標値にはとどかなかつたものの、就業延べ人員も目標値レベルに達することができました。

喫緊の重要課題としている「会員の増強と就業確保の推進」については、入会者数が退会者数を上回り、前年比37名増の892名。また、女性割合も目標としていた40%を超え41.4%に達しました。いずれも過去最高に達しております。契約額は請負・派遣合わせて4億円と昨年比2千万円を超える増加を達成し、過去最高額で収支も赤字を脱却することができました。

就業確保数を示す受注件数は、前年度並みで7件の増加になり、就業延人員は、8万7千人日を超え、前年度比3千人日余、3.9%増となりました。

安全就業については、幸い重篤事故はありませんでした。傷害事故7件、賠償事故5件、計12件の事故が発生しており、昨年より2件減少しております。

今年度は、コロナ禍のなかで、定時総会は通常開催ができなかったものの、ボランティア活動や地区懇談会は久々に開催することができました。さらに5月と11月に「元気まつり」を開催し、多くの方に参加いただくなど地域貢献活動の実績を残せました。また、「事務局だより」や「広報かが」有料広告の毎月発行・掲載により、会員とのコミュニケーション強化、シルバー就業拡大・会員増強を図りました。

アフターコロナを見据えながら、地域の皆さまに愛され、信頼されるシルバー人材センターとして、会員・役職員がより一層連携し、地域ニーズに適合する事業運営に取り組んでまいります。

令和4年度事業実績詳細については、次のとおり報告いたします。

1. 会員の登録状況

| 区分 | 令和4年度 | 令和3年度 | 差引 |
|----|-------|-------|-----|
| 男 | 523人 | 514人 | 9人 |
| 女 | 369人 | 341人 | 28人 |
| 計 | 892人 | 855人 | 37人 |

| 会員の平均年齢(歳) | | | 会員の最高年齢(歳) | |
|------------|------|------|------------|----|
| 男性 | 女性 | 全体 | 男性 | 女性 |
| 75.0 | 74.2 | 74.6 | 94 | 92 |

(単位：人)

| 項目 | 年度当初 | 入会 員数 | 退会 員数 | 年度末 | 退 会 理 由 | | | | |
|----|-------|----------|----------|-------|---------|-----|-----|-----|-----|
| | 会 員 数 | | | 会 員 数 | 就 職 | 病 気 | 死 亡 | 加 齢 | その他 |
| 男 | 514 | 48 | 39 | 523 | 2 | 13 | 5 | 3 | 16 |
| 女 | 341 | 59 | 31 | 369 | 4 | 6 | 0 | 6 | 15 |
| 計 | 855 | 107 | 70 | 892 | 6 | 19 | 5 | 9 | 31 |

2. 事業の実績

| 項 目 | | 令和4年度 | | 令和3年度 | | 前年度のとの比較 | |
|------------------|--------|-------------|----|-------------|----|------------|---------|
| 会員数 | | 892 | 人 | 855 | 人 | 37 | 人 4.3% |
| | 男性 | 523 | 人 | 514 | 人 | 9 | 人 1.8% |
| | 女性 | 369 | 人 | 341 | 人 | 28 | 人 8.2% |
| 就業率 | | 74.6 | % | 77.5 | % | | -2.9% |
| 就業延人日計 | | 87,860 | 人日 | 84,533 | 人日 | 3,327 | 人日 3.9% |
| 請 負 事 業 | 就業延人日計 | 59,095 | 人日 | 57,496 | 人日 | 1,599 | 人日 2.8% |
| | 受注件数 | 2,482 | 件 | 2,500 | 件 | △18 | 件 -0.7% |
| | 契約金額 | 263,840,058 | 円 | 252,493,509 | 円 | 11,346,549 | 円 4.5% |
| | 支払配分金 | 233,866,797 | 円 | 223,610,404 | 円 | 10,256,393 | 円 4.6% |
| | 受取材料費 | 11,683,272 | 円 | 11,460,930 | 円 | 222,342 | 円 1.9% |
| | 受取事務費 | 18,289,989 | 円 | 17,422,175 | 円 | 867,814 | 円 5.0% |
| 派 遣 事 業 | 就業延人日数 | 28,765 | 人日 | 27,037 | 人日 | 1,728 | 人日 6.4% |
| | 受注件数 | 184 | 件 | 159 | 件 | 25 | 件 15.7% |
| | 契約金額 | 137,956,437 | 円 | 126,634,936 | 円 | 11,321,501 | 円 8.9% |
| | 賃金 | 126,223,565 | 円 | 115,823,874 | 円 | 10,399,691 | 円 9.0% |
| | 受取事務費 | 11,732,872 | 円 | 10,811,062 | 円 | 921,810 | 円 8.5% |
| 合 内 計 訳 | 契約金額合計 | 401,796,495 | 円 | 379,128,445 | 円 | 22,668,050 | 円 6.0% |
| | 配分金・賃金 | 360,090,362 | 円 | 339,434,278 | 円 | 20,656,084 | 円 6.1% |
| | 材 料 費 | 11,683,272 | 円 | 11,460,930 | 円 | 222,342 | 円 1.9% |
| | 事 務 費 | 30,022,861 | 円 | 28,233,237 | 円 | 1,789,624 | 円 6.3% |

※派遣事業：県シ連が公表する当センターの契約額は161,075千円(県の諸経費23,119千円を含む)

(再掲)

○ 元気市事業の実績 (内訳)

① 大聖寺元気市 (R4.5.7~R.4.12.17 毎週土曜日 8:00~10:00)

| 区 分 | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増 減 |
|---------------|-----------|-----------|----------|
| 収 入 金 額 (円) | 1,219,550 | 1,625,490 | △405,940 |
| 就 業 実 人 員 (人) | 16 | 11 | 5 |
| 就 業 延 人 日 (人) | 204 | 134 | 70 |

② 片山津元気市 (R4.5.8~R.4.12.11 毎週日曜日 7:30~10:00)

| 区 分 | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増 減 |
|---------------|-----------|-----------|---------|
| 収 入 金 額 (円) | 1,008,970 | 1,105,300 | △96,330 |
| 就 業 実 人 員 (人) | 12 | 10 | 2 |
| 就 業 延 人 日 (人) | 197 | 115 | 82 |

③ 普及啓発事業

| 区 分 | 十万石まつり | 健康フェスタ | 元気まつり |
|---------------|---------|---------|---------|
| 収 入 金 額 (円) | 100,810 | 205,900 | 363,600 |
| 就 業 実 人 員 (人) | 11 | 11 | 45 |
| 就 業 延 人 日 (人) | 11 | 11 | 45 |

内容 ・元気まつり (野菜・加工食品販売)・餅・コーヒー

○ レストランさくら

| 区 分 | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増 減 |
|---------------|------------|------------|----------|
| 収 入 金 額 (円) | 6,162,870 | 6,066,190 | 96,680 |
| 費 用 (経 費) (円) | 7,613,932 | 7,974,987 | △361,055 |
| 収 支 (円) | △1,451,062 | △1,908,797 | 457,735 |
| 利用者人数 (人) | 10,188 | 10,519 | △331 |

○ 菊の湯 番台清掃業務

| 区 分 | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増 減 |
|---------------|------------|------------|-----------|
| 収 入 金 額 (円) | 45,948,000 | 44,099,000 | 1,849,000 |
| 費 用 (経 費) (円) | 42,452,529 | 41,557,789 | 894,740 |
| 収 支 (円) | 3,495,471 | 2,541,211 | 954,260 |

[会員増強]

- ① 会員確保につきましては、コロナ禍や物価高が進む中、入会者 107 名、退会者 70 名、差引 37 名増で、会員数 892 名に達しました。第 4 次中期計画目標値 877 名を超えて、これまでの最高会員数となりました。

入会説明会には 186 名の参加があり、窓口にも求職相談に頻繁に訪れ、新規受注もあるものの就業のミスマッチは解消されておりません。

- ② 新規入会会員対策として、会員紹介の報奨制度に 25 名が対象となり、前年より 7 名増加しております。会員増強の一翼を担っていることから今後も当該制度の活用が必要です。
- ③ 平成 26 年度から納税奨励及び確定申告期間の混雑を回避することを目的に、シルバー会員を対象に実施している確定申告相談は、これまで最多の 44 名の参加がありました。

〔就業機会確保・契約実績〕

- ① 契約実績につきましては、コロナの影響を受けながらも、社会経済活動が動き出し、請負実績が前年度比 4.5%増、派遣実績が 9.0%増となり、契約実績総額は約 401,796 千円 6.0%増と過去最高の事業実績となりました。剪定会員の減少で請負では受注が微減したものの、派遣契約でのマイクロバス運転業務がコロナの影響からの脱却傾向から戻り始めました。
- ② 経常収支決算につきましては、収益 355,709 千円、経費 354,288 千円で、事務費が対前年比 1,790 千円の増収益になり、収支は 1,421 千円の黒字となりました。

4. 健康管理と安全就業の推進

〔事故防止対策〕

- ① 令和 4 年度事故発生状況は、傷害事故 7 件、賠償事故 5 件が起きております。傷害事故の中で、躓いて転倒した事故が 4 件あり、身体的機能低下によるものであります。安全就業と健康管理は両輪であり、健診助成を継続実施するとともに健康チェックの関心度を高める必要があります。また、賠償事故 5 件中 3 件が飛び石により車両の破損であり、対策として危険な範囲の車両を移動させることを徹底する必要があります。

いずれにしても些細な不注意が事故原因の大半であり、会員への注意喚起を行っていきます。

- ② 令和 4 年度は安全パトロールを屋外作業の繁忙期の 6 月から 10 月まで 9 回実施し、作業会員の安全就業とともにコミュニケーションを深めることを図りました。
- ③ スクールバス運転では、幸い人身事故の発生はありませんが、物件接触事故が起きております。今後とも、注意喚起してまいります。

〔安全就業意識の啓発と向上〕

- ① 安全就業と健康管理は両輪であることから始めた健診受診奨励制度は、57 名の会員の利用がありましたが、前年度から 27 名減少しており、周知強化が必要です。

- ② 事務局だよりを毎月発行し、コロナ感染予防注意事項やストレス解消法、転倒予防運動、頭の体操など健康管理に役立つ情報を継続発信しております。
- ③ 安全就業標語応募は、27人から62作品、健康標語は29人から73作品ありました。ポイント付与の効果により前年度より大幅に増えております。最優秀作品各1点を啓発活動に活用していきます。

5. 地域貢献活動の推進

- ① 「地域を支える」、「同世代を支える」を旗印に実施している地域貢献活動について、加賀市から指定管理を受託している「かが交流プラザさくら」の利用者数は、コロナ禍対応等で貸室3室が占用される中、昨年度を3千4百人を超えて5万6千人となりましたが、コロナ禍以前の利用者には届いておりません。
- ② 「加賀市もてなしガーデナー」活動は、四季の花々で彩り、訪れる利用者を楽しませており、今後も継続していきます。
- ③ レストラン利用については、年間10,188人で前年より約331人さらに減少しております。また、収支も50万円程度改善しましたが145万円の赤字を計上しております。しかし「かが交流プラザさくら」に賑わい創出の一翼を担うものとして役割を果たすため、さらなる自助努力を重ねて収支の改善に取り組みます。
- ④ 加賀市委託事業「加賀市高齢者家事支援サービス事業」は、サポーター会員の高齢化や利用者の介護移行により、活動サポーターが6名になるとともに、利用者の介護移行も8名あり、新規利用者6名を加えても年度末には11名の利用者となりました。サポーターと新規利用者との相性や委託体制の関係で充実が難しい状況にあります。
- ⑤ 買い物弱者の支援にもなっている「元気市活動」は、新会員の補強が叶わず、他の活動同様に高齢化の進行で苦境に立たされております。

コロナ禍ではありましたが元気回復を目的に、かが交流プラザさくらの駐車場及びエントランスにおいてシルバー元気まつりを春と秋に開催しました。会員さんも地域の方も祭りやイベントが縮小されているなか、多くの方に喜ばれ大盛況に開催することができました。

6. 組織体制の充実・強化

[理事会・各専門委員会の活動充実]

- ① 役員の見識を広め、事業運営に生かすために実施している理事会視察研修は、コロナ感染拡大防止から実施できませんでした。受け入れもありませんでした。
- ② 各専門委員会開催においても、コロナ禍でのイベントや活動制限により、新たな事業展開を行うテーマも乏しく、十分な活動を行うことが叶いませんでした。

[事務局体制の強化]

- ① 事務局職員も定年を超えて就業するものが複数になり、新陳代謝を図る意味合いや多様化した事務量の増大に対応するために職員1名を増員しました。
- ② お客様アンケートでは、事務局対応の改善が認められ不満の記述は見当たりません。
- ③ シルバー会計システムが複雑過ぎ、決算状況が常に年度末まで不明であることが課題であります。
- ④ コロナ禍で、リモートワークが進展するなど、デジタル技術への理解が不可欠となっています。職員体制や会員のデジタル資質向上が求められています。